



Win-Win-Business



WWB 株式会社
WWB Corporation



<http://wwwb.jp>

〒140-0002

東京都品川区東品川2-2-4 天王洲ファーストタワー5F
TEL : 03-6433-2789 (グリーンエネルギー事業部)
TEL : 03-6433-2788 (建設機械事業部)
FAX : 03-6712-8383 (共通)

WWBは、ESG/SDGsの推進にコミットしています。

ESGは、WWBの理念「社会貢献」に合致しています。
WWBは、サステナブルな成長を見据え、
ESGの視点を経営に取り入れています。

企業の長期的成長性を判断する指標となるESG。地球環境への配慮や地域・国際社会への貢献、企業統治やステークホルダーへの価値の提供といった側面から企業がいかに持続的に成長できるかを評価するための国際基準です。

Social
社会責任
グリーンエネルギーの普及をグローバルに拡大し、世界各国のインフラ整備を推進。快適な社会づくりに貢献します。社会活動イベントの支援を通じ、環境保全の意義や意識を世の中に広げ、新たな価値を社会に提供しています。企業行動指針や社員行動指針を制定し、あらゆる人権の尊重と配慮に努めます。

Environmental
環境配慮
グリーンエネルギーの普及を通じて、安心・安全な脱炭素社会の実現に貢献します。ZEHやSolar Sharingの普及推進に努め、グリーンエネルギー発電の裾野を住宅や農業などにも拡大します。

Governance

企業統治

ガバナンスに対する考え方を明文化し、経営の効率性とコンプライアンスを両立させつつ、透明性のある健全な企業統治体制を構築しています。企業統治のための具体策として取締役会や監査役会を開催し、内部監査室の設置、監査法人による監査と併せて、ガバナンス監督の実効性を高めています。



WWBは、「Win-Win Business」への思いを込めた社名です。

1. 社員と社員、すべての社員と会社の Win-Win 関係。
2. お客様を含む全てのステークホルダーとの Win-Win 関係。
3. 社会貢献による会社と社会の Win-Win 関係。

WWBは、グリーンエネルギーを通じて、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献します。

持続可能な開発目標の略称

SDGs (Sustainable Development Goals)。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。



当社グループのSDGsに対する取り組みは、外務省運営Webサイト「JAPAN SDGs Action Platform」に、SDGsに取り組む企業の一例として掲載されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs17：パートナーシップで目的を達成しよう

SDGs13：気候変動に具体的な対策を

SDGs12：質の高い教育をみんなに

SDGs11：住み続けられるまちづくりを

SDGs10：人や国の不平等をなくそう

SDGs9：産業と技術革新の基礎をつくろう

SDGs1：貧困をなくす

SDGs2：飢餓をゼロに

SDGs3：すべての人に健康と福祉を

SDGs4：質の高い教育をみんなに

SDGs5：ジェンダー平等を実現しよう

SDGs7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

SDGs8：働きがいも経済成長も

SDGs7/11/13はWWBの事業に直接的に関連するゴール

社会貢献活動の一環として、各種イベントもスポンサー。

イベントに使用される電源に、太陽光発電を活用、技術協力。



Earth Day



Peace On Earth



中津川 THE SOLAR BUDOKAN

WWBの強固な「ビジネス基盤」、 グリーンエネルギー事業と建設機械・建設機器事業。

»» グリーンエネルギー事業

自然が輝く瞬間を逃さない。

WWBは、2006年の設立以来、日本各地で数多くの太陽光発電所を手掛け、「資源の乏しい日本のエネルギー問題に貢献したい」「地球温暖化防止に役立ちたい」との想いで、事業を展開してきました。グリーンエネルギーの普及を通じて、安心・安全な脱炭素社会の実現に貢献します。



»» 建設機械・建設機器事業

協調性と適応進化の「手配力」。



WWBは、建設機械商社としてお客様に満足していただける機械を国内外に提供してきました。中古建機の取扱いに強みをもち、海外のODA等の実績を背景に、海外における建機ニーズにも迅速に対応します。2011年の東日本大震災の福島第一原発事故ではSANYの協力を得て、原子炉注水用の62mのコンクリートポンプ車(通称：大キリン)を東京電力に寄贈させていただきました。

拡大するグローバル戦略。

まだまだ十分ではない海外の電力インフラ整備。遅々として進まないCO₂削減による地球温暖化対策。私たちWWBは、現在、東南アジアを中心に太陽光発電所の建設を進めています。グリーンエネルギーに関しては、世界のどこで発電しても同様に地球環境への貢献が生まれるため、今後は活動の場を全世界に広げ、グローバルビジネスを積極的に展開していきます。また、建機では、海外ODA事業を展開、バングラデシュに現地法人を設立。





WWBは、グリーンエネルギーの総合カンパニーです。

・企業保有施設への太陽光パネル設置・学校など公共施設への太陽光パネル設置・ソーラーシェアリング

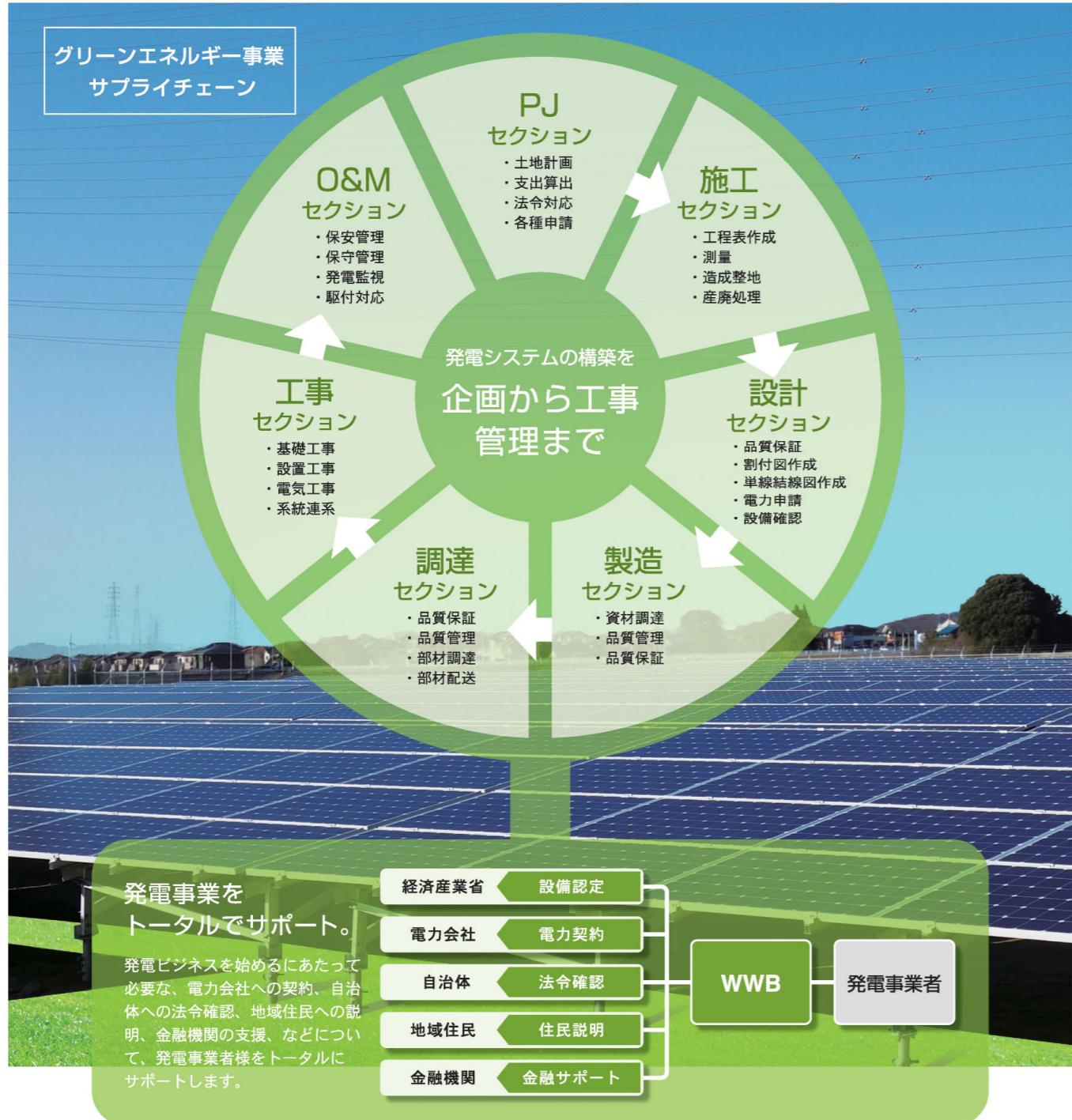
・太陽光パネル(新築・既築)・ソーラーカーポート・ZEH用システム構築支援・蓄電池

グリーンエネルギー 事業領域

1 産業向け 事業

太陽光発電ビジネスに貢献する ワンストップソリューション。

太陽光発電プロジェクトの上流から、完成、そしてその後の運営に至るまでのあらゆる工程で、自社の高品質モジュールを最大限に活かすソリューションを提供しています。全ての工程をワンストップで担当することで、各工程がスムーズに連携し、ストレスのないサービス提供が可能。お客様の太陽光発電ビジネスを強力にサポートします。



2 住宅向け 事業

太陽電池モジュールから始まる ゆとりある明るい暮らし。

住宅に太陽電池モジュールを設置することにより、新しい価値が生まれます。エネルギーを創り出し、自宅で使うエネルギーを自力でまかなう。余った電力を販売し、売電収入を得る。余剰電力を蓄電池に貯めて、万一の災害に備える。脱炭素を推進し、地球環境に貢献する。そして、これからはカーポートに停めたEVカーの活用も当たり前の時代に。暮らしやすくて、いちだんと安心・便利になって、未来の暮らし現実になります。



充実の 保証サービス



モジュール
25年
出力保証



システム
10年
保証



モジュール及び架台、パワーコンディショナー、接続箱等の周辺機器の動作を保証。

台風、落雷、火災、飛来物による災害で発生した修理代金を補償。

3 関連製品 販売事業

・発電関連製品調達・販売

多彩な商社機能
太陽光発電関連製品を豊富に取り揃え

パワーコンディショナーや蓄電池などの周辺機器からケーブルなどのアクセサリー類に至るまで、さまざまなタイプ、用途の製品を取り揃えています。周辺機器を自由に組み合わせて、目的に合った発電システムの構築が可能です。

4 発電 事業

・発電所売買(低圧・高圧・特高)・中古発電所買取・販売・仲介・自社保有発電所運営
・ID、土地の取得、販売・発電所建設工事

発電所売買

セカンドリーケース含め、2000件以上の売買実績



自社保有発電所の運営

安定した発電収益が健全な企業経営に貢献

太陽光発電所を自社保有し、発電収益を計上。市場動向による収益変動が少なく、企業経営の安定基盤となっています。また、ここで得た運営ノウハウをフィードバックし、お客様の発電ビジネスに役立てています。

中古物件売買

全国各地の優良物件を取り扱い

太陽光発電所のマッチングサービスを展開。売りたい人と買いたい人を仲介します。何らかの事情で発電所を手放す事態になったとしても、お客様を最後まで確実にサポートします。

5 O&M 事業

・保安管理・保守管理・発電監視・駆付対応・遠隔監視システム販売

安心のO&Mサービス

メンテナンスサービスをワンストップで提供

最新の遠隔監視システムやデジタル管理システムを活用して、きめ細かな保守管理を実現。発電トラブルに迅速に対応し、発電ロスを最小限に抑え、発電収益確保に努めます。

WWBは、JAPANクオリティの 太陽光発電モジュールを お届けします。

モジュールは2ブランドを展開

- ① Maxarブランド ② VSUN

WWBは、サプライチェーンに、モジュール製造機能をもつ独自のビジネスモデルを展開する日本のモジュールメーカーです。

当社が製造・販売する太陽電池モジュールは、業界最高クラスの高出力を誇り、メーカーならではの高効率、長期安定、幅広いラインアップを実現。一般戸建住宅から産業用メガソーラーに至るまで、さまざまなシーンで利用されています。



高品質 High Quality

グループ会社がベトナムに保有するモジュール生産工場は、TUVライセンスの取得はもちろん、ベトナム政府よりハイテク工場に認定。JAPANクオリティで生産されたモジュール品質は、世界で高い評価を受けています。

生産への フィードバック Feedback to Production

モジュールの開発・生産から発電所の保守・運用までを一貫して行っているため、現場サイドからの要望を製品化できるのも自社開発ならではの利点。多品種ラインアップでさまざまな太陽光発電シーンをサポートしています。

多品種開発 Multiple Product Development

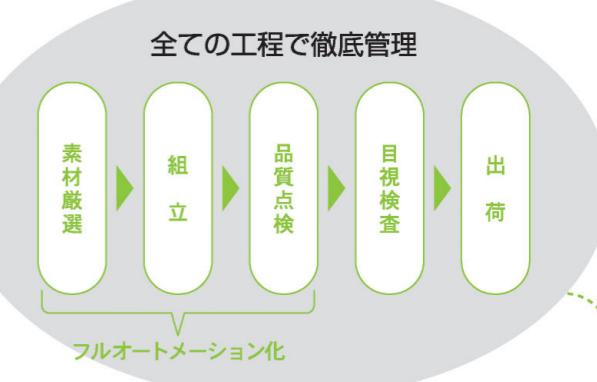
法改正や市場ニーズに迅速に対応し、製品化できるのも自社開発ならではの利点。多品種ラインアップでさまざまな太陽光発電シーンをサポートしています。



高品質太陽電池モジュールを活かし、高付加価値の提供へ ➤➤➤

高品質・高発電効率モジュールを可能にする生産体制

製品の品質を確保するために、WWBは原材料の選択と生産工程の管理に十分な努力を重ね、太陽電池モジュールの安定性を保持、過酷な気候の中での耐久性を追求。すべての太陽電池モジュールは出荷の際に品質テストを再度行い品質管理を徹底。①安定、②高効率、③低コストを実現、差別化を図ります。



WWBのグループ企業「VSUN」

VSUNは世界中のパートナーと協力して、環境保護とクリーンエネルギーの開発を共同で推進し、企業の責任をさらに果たし、より多くの国とユーザーにグリーンでクリーンなエネルギーを提供し、グローバルなエネルギー変革と持続可能な開発に貢献します。

ベトナム政府より
2018年4月、ハイテク企業認定

ヨーロッパ、米国のほか
東南アジアへも販売を拡大



「Vietnam Sunergy (VSUN Solar)」は、2021年2Q生産量が2600MWにまで伸びています。

Firm / brand	Annual module capacity, MW/year
VSUN Solar*	2,600

Firm / brand	Annual module capacity, MW/year	Firm / brand	Annual module capacity, MW/year
ZHSolar	6,000	Longi*	50,000
Waaree*	2,000	Jinneng JInergy	2,700
VSUN Solar*	2,600	Jinko*	31,000
Vikram Solar*	2,500	Jelion	2,500
Ulica Solar	1,200	JA Solar*	23,200
Trina Solar*	33,600	Hyundai*	1350
Talesun*	10,000	HT-SAE*	6,000
Suntech*	10,000	Hailan	390
SunPower! Maxeon*	3,600	Hansol Technics	600
Sumei Phono Solar*	2,000	Haitai Solar	6,000
Shinsung	300	Finst Solar*	6,300
Sharp	210	Exxon Group	700
Seraphim / SEG*	5,500	ET Solar	1,600
S-Energy	530	Egging	6,000
Risen Energy*	14,100	DMEGC*	2,000
Renesola Yingli	1,500	Chint Astronergy*	8,000
Recam	600	Canadian Solar	16,100
REC Group*	1,800	Boviet*	1,500
Neo Solar Power/URE	1,800	AE Solar	2,025
Lepton Energy*	1,000	Adani/Mundra*	1,500
Jollywood*	3,000	Total	273,305



世界各国において、今後も躍進しつづける 産業用事例

モジュールメーカーならではの利点を活かし、太陽光発電関連サービスを展開。太陽光発電パートナーとして、ソーラーライフ、ビジネスをトータルサポート。

自社保有 EPC事業



再生可能エネルギーの最先端、 メガソーラー。

太陽光発電事業は『容易なメンテナンス』、『初期コスト』に対する高い収益性、『長期+高い安定性』といったメリットがあります。また、建物屋根にも設置できるなどの利点から、電力会社ではない一般企業や自治体も、売電用だけでなく自家発電用に太陽光発電設備を導入する事例が増加しています。弊社は投資コストに対する事業採算シミュレーションから補償まで、一貫してサービス提供いたします。



日本全国に拡大する建設実績



自家消費 モデル

太陽光発電事業の大きな市場が転換期を迎える今、
売電ではなく、自家消費へのシフトを見据えた戦略をご提案します。



売電価格と買電価格が変わらない、そして買電価格が高騰している時代背景から、売電収入によるメリットがある【全量売電】モデルから、作った電気を自分で消費し、買う電気を減らして電気代を削減することでメリットを生む【自家消費】モデルの導入が増えています。

ソーラー⁺ シェアリング

目指すは、農業地域経済の収益基盤の活性化に寄与する注目のソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)計画。



「マクサ」ライト-Vは、独自の技術により太陽光モジュールの配置を調整することで、植物や生育環境により異なる光飽和点(こうこうわてん)の調整を実現しました。



Solar Sharing Package
特許申請中

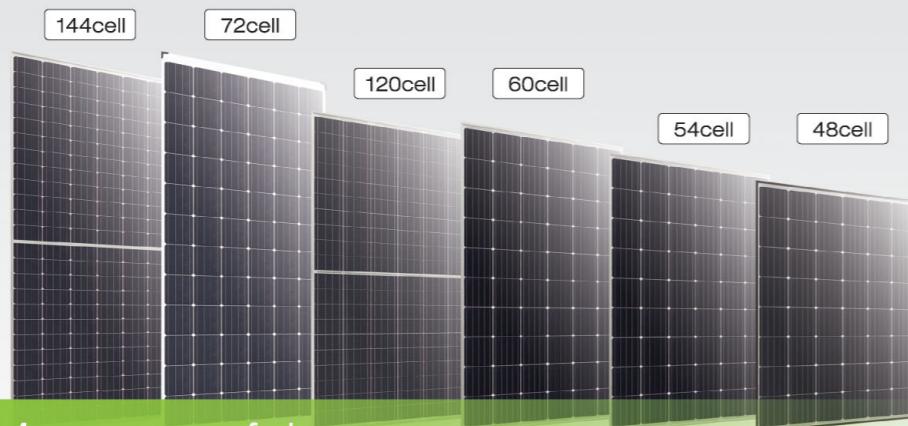


『最高』の太陽光発電を目指して

業界最高クラスの変換効率を誇る、高出力・高品質のモジュール

Maxar® Photovoltaics Module <マクサ>

WWBの太陽電池モジュール「Maxar(マクサ)®」は国際共通基準に基づいて開発、設計、製造および販売しております。これらの製品は、一般住宅屋根の太陽光発電システムをはじめ、集合住宅や工場、商業施設のほか、メガソーラーなど幅広く利用されています。

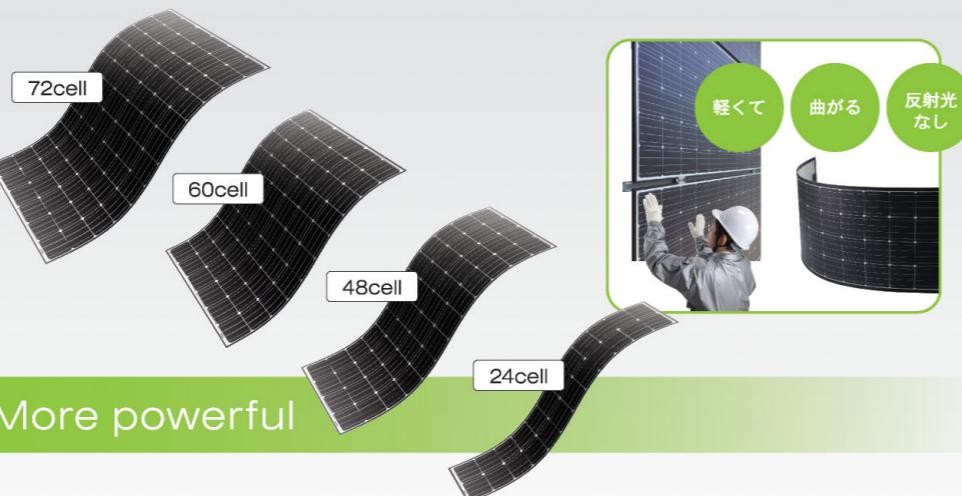


強化ガラスを使用せず柔軟性を考慮した、超軽量モジュール

Maxar® LIGHT Photovoltaics Module <マクサ>

強化ガラスを使用しない事により柔軟性を獲得した超軽量モジュールを活かし、湾曲した壁面やビニールハウスなどにも設置範囲を拡大しました。

壁面設置
特許申請中



Maxar® STAND Photovoltaics Simple Base <マクサ>

屋根に穴を開けずに基礎工事も防水工事も不要。風圧を利用し、置くだけの簡単施工を実現した陸屋根架台。



O&M : 遠隔監視機器 Eco SmartView® +PLUS

発電所の稼働状況をモニタリングする高機能遠隔監視システム。発電機器のトラブルにいち早く対応し、発電ロスを最小限に抑えます。



今の時代
何が必要
なのか？

今後の太陽光発電事業は、
余剰売電・全量売電から自家消費への移行が主流に。

電気を維持させる事は不可能です。
よってこれからのは時代は蓄電池が主流に。

Maxar®バッテリーの時代へ

Maxar® BATTERY Energy Storage System <マクサ>

WWBは、使いたい時にすぐつかえるポータブルタイプをはじめ、コストを重視した単機能タイプから大型産業用ユニットタイプまで、Maxarバッテリーの開発を緩める事なく進めて参ります。

幅広いバッテリーラインナップ

産業用

1000 kWh → ユニットタイプ

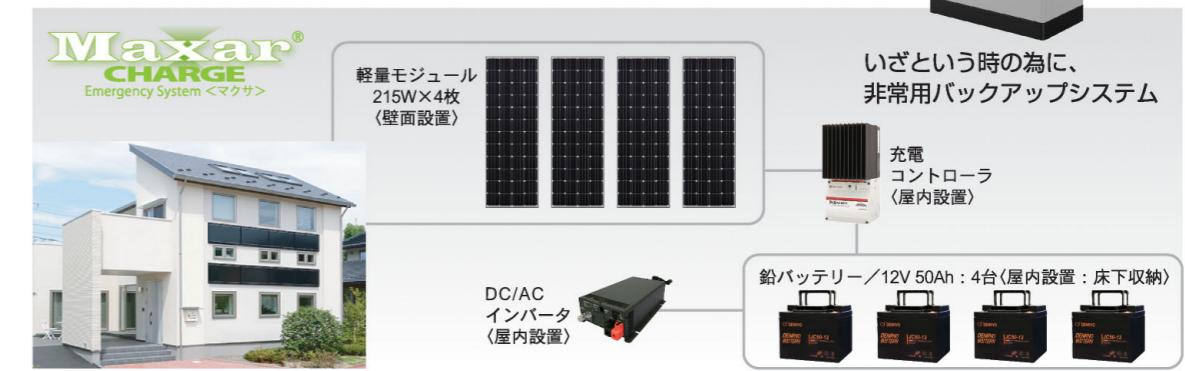
100 kWh~ → ユニットタイプ

20 kWh~ → ユニットタイプ



住宅用

10.2 kWh → 単機能タイプ



非常用

2.4 kWh → 「楽でんくん2」

0.4 kWh → 「楽でんくん」



Maxar® CHARGE portable 風水害時の非常用電源としても活用いただけます いつでもどこでも電気がつかえるポータブル蓄電システム



未来の世界を創造する建設機械で 国際社会に貢献します。

日本はもちろん、アジア諸国を中心に幅広い建機ネットワークを構築。
中古建機の販売・レンタル・リースにおける圧倒的実績をベースに、
活動の場を世界へと広げています。
最近では、東南アジアの国々のインフラ整備事業に積極的に参画。
バングラデシュの首都ダッカに法人を設立するなど、拠点を整備し、
グローバル戦略を強力に推進しています。



特殊車両 土木作業機械 発電機 道路工事機械

SANYを始めとする 世界のメーカーを 取り扱い

世界トップクラスの実績を誇る三一重工(SANY)をはじめ、世界各国のメーカー建機を取り扱っており、お客様のさまざまなお要望に応えています。



海外ODA事業現場

調達～納品まで 最短1週間

国内のみならずアジア諸国のネットワークを駆使する事で、仕入れ・販売に迅速に対応いたします。
バングラディッシュには、現地法人を設立し、常時、専門スタッフが対応可能な体制を整備しております。

世界のインフラ整備事業に参画

ダッカ都市交通 整備事業

バングラデシュのダッカ都市圏では道路整備が遅れ、慢性的な交通渋滞が発生。排ガスによる大気汚染も問題に。
この整備事業においては、都市高速鉄道建設のために建機を提供し、公共交通機関への転換により交通渋滞緩和を図ります。

カチプール・メグナ・グムティ 第2橋建設・既存橋改修事業

バングラデシュの首都ダッカとチッタゴンを結ぶ経済回廊は、同国の経済の大動脈。
この経済回廊にかかる国道の交通量増加による橋梁の安全性を確保するため、3つの橋梁改修と新たな橋の建設を支援します。



会社 概要

商 号 WWB株式会社(英語表記: WWB Corporation)

代 表 者 代表取締役社長 増田 裕一郎

設立年月日 2006年6月

資 本 金 1億円(増資日: 2021年2月2日)

事業内容
[グリーンエネルギー事業]
太陽光発電システムに関する製品の企画・製造・輸出入及び販売、施工 WWB Solar製ソーラーモジュールMaxar【マクサ】のOEM製造 住宅向け・低圧システム販売卸、EPC工事請負、SPC事業
総合的な省エネルギー、創エネルギーシステムインテグレーション事業 次世代グリーンエネルギー商品の企画・製造・輸出入及び販売、施工

[建設機械・建設機器事業]
三一重工(SANY)正規日本代理店・サンワード(SUNWARD)日本代理店、中古建設機械、中古特殊車両、中古船舶の輸入及び販売・レンタル

従業員数 31名(2021年4月1日現在)

主要な
グループ企業
Abalance株式会社
株式会社パローズ
株式会社パローズエンジニアリング
日本光触媒センター株式会社
FUJI SOLAR株式会社
Vietnam Sunergy Joint Stock Company
VSUN JAPAN株式会社
他

所 在 地 [本社]
〒140-0002
東京都品川区東品川2-2-4
天王洲ファーストタワー5階
TEL. 03-6433-2789(グリーンエネルギー事業部)
TEL. 03-6433-2788(建設機械事業部)
FAX. 03-6712-8383

[大阪支社]
〒564-0063
大阪府吹田市江坂町1-17-14
江坂パークフロントビル3階
TEL. 06-6170-7056
FAX. 06-6170-5200

主要取引銀行
みずほ銀行
七十七銀行
きらぼし銀行
城南信用金庫
日本政策金融公庫
芝信用金庫
リコリース株式会社

主要取引先
(50音順)
株式会社 大林組
清水建設株式会社
JFEエンジニアリング株式会社
株式会社 IHI
丸紅株式会社
ユアサ商事株式会社
三菱電機株式会社
株式会社東芝